



9月15日(金)→11月5日(日)

8:30→17:00

月曜日休館(祝日の場合は開館して翌日休館)

※龍馬パスポート使えます

高校生以上200円 小・中学生100円(館内共通)

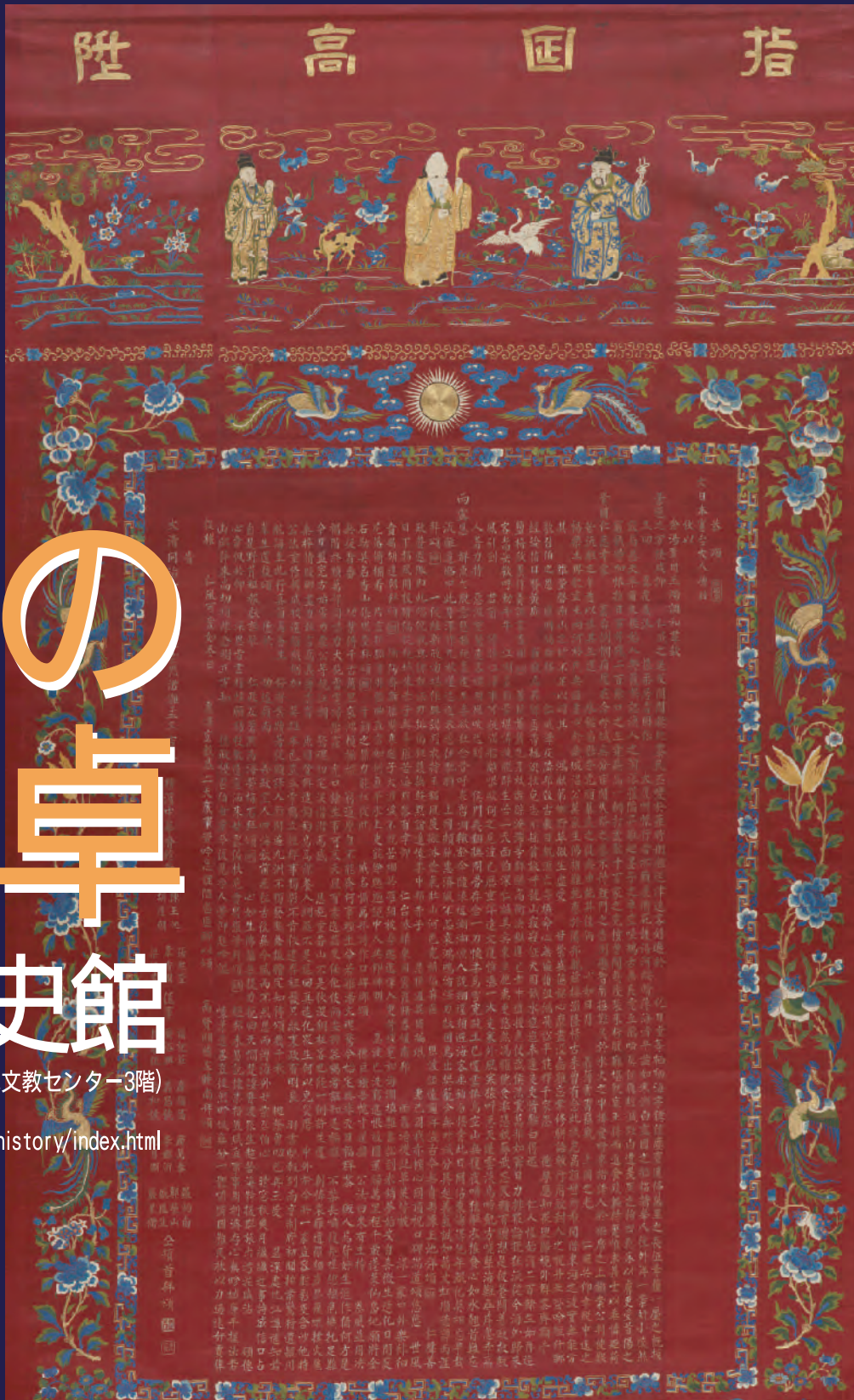
減免事項および入館料の納付を必要としない場合
・20名以上の団体の方(2割) ・宿毛市内の小・中学生で、歴史館が発行する「歴史館パスポート」を所持する方と、引率する保護者の方(全額)
・1歳または2歳の身体障害者手帳を所持する方と、介護するために同時に入館される方(全額) ・療育手帳を所持する方と、介護するために同時に入館される方(全額)
・高知県長寿手帳を所持する方と、介護するために同時に入館される方(全額)

大旗は特別展示 9月24日(日)から追加

マリア・ルス号事件で謝意として大江卓に贈られた大旗(神奈川県立図書館蔵)



大江卓木像(当館蔵)



宿毛の 大江卓

宿毛市立宿毛歴史館

〒788-0001 高知県宿毛市中央2丁目7-14(宿毛文教センター3階)

TEL 0880(63)5496 FAX 0880(63)1319

ホムへ → <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/history/index.html>



- アクセス
- ・JR・高知駅より土佐くろしお鉄道宿毛駅まで約2時間
 - ・JR・岡山駅より土佐くろしお鉄道 宿毛駅まで約5時間30分
 - ・高知空港よりJR高知駅へシャトルバスで約40分
 - ・高知市より車で150km 約3時間40分
 - ・松山市より車で191km 約4時間
 - ・高知西南交通バス・宇和島自動車とも宿毛文教センター前下車徒歩1分
 - ・大分・佐伯港から宿毛港までフェリーで約3時間

大江 卓

弘化4年(1847)、土佐藩宿毛領主の重臣だった父、弘が柏島(現在の大月町柏島)在番赴任中に生まれた。宿毛は土佐国西部にあり、伊予国と街道で接するまちで、沿岸の海防の面からも藩政期当初から重要視された。土佐藩祖山内一豊の甥が6千石で領有して以降、代々「土居付家老」という土佐藩独特の高い格式と重職を担いつつ、幕末を迎える。

宿毛で成人した卓は兵学に長け、黒船に備える海防への操練で重用される。しかし、武器買付に訪れた長崎から京都に潜入、宿毛を離れて中岡慎太郎亡きあとの陸援隊に所属して高野山に出陣、紀州藩の新政府帰順のキーマンになる。その褒美として軍を率いた鷲尾侍従から短刀を拝領している。

戊辰戦争では土佐本藩とは別に宿毛単独で出兵する画策を進め、卓自身は上海を視察する。帰国後、民部省に出仕、いわゆる「賤称廃止」太政官布告を実現させた。また、紀州藩出身の陸奥宗光に従って神奈川県に入り、明治5年(1872)、ペルー船籍で横浜港に入ったマリア・ルス号をとりまく事件に遭遇する。宗光転出にともない、卓は裁判長そして県権令に着任、県政を掌握すると外務卿副島種臣指揮のもと事件解決にあたった。結果、船内で重労働を強いられた清国人229人を開放の上帰国させることができ、卓と種臣には感謝の大旆(たいはい)が贈られた(神奈川県立図書館蔵)。なお、卓関連資料には清国から贈られた硯も現存する。

明治8年(1875)官界を去り、翌々年の西南戦争では土佐挙兵計画の中心人物として同郷の林有造とともに禁獄10年に服するも、明治23年(1890)第1回帝国議会では、入獄先の岩手県から議席を獲得、予算委員長に就任している。次選挙で落選すると政界を引退、実業界に本格的に進出して東京株式取引所頭取を務め、朝鮮半島の京釜鉄道敷設事業に取り組んだ。

晩年、得度して「天也」と号し、全国行脚しながら帝国公道会の組織化を図り、若年からのライフワークともいえる人権活動に専念した。大正10年(1921)74歳で死去。



鷲尾侍従より拝領の短刀



大江卓



清国より拝領の硯

関連行事 ■大江卓生誕記念祭■

9月30日(土) 歴史講座「大江卓と
10:00~11:30 会場:宿毛文教センター2階 会議室1
講師:フェリス女学院大学 大西 比呂志 教授
一般対象/事前申し込み不要/参加費無料
連綿と続くフェリス女学院の設立には、大江卓が強く関わっていました。

10月11日(水) DVD上映会 舞台「マリア・ルス号事件」
15:00~17:00 会場:宿毛文教センター1階 多目的ホール
大江卓役:平沼成基
一般対象/事前申し込み不要/参加費無料
平成21年に横浜で開港150年を記念して上演された舞台です。